

令和7年度 一般職試験（大卒程度）

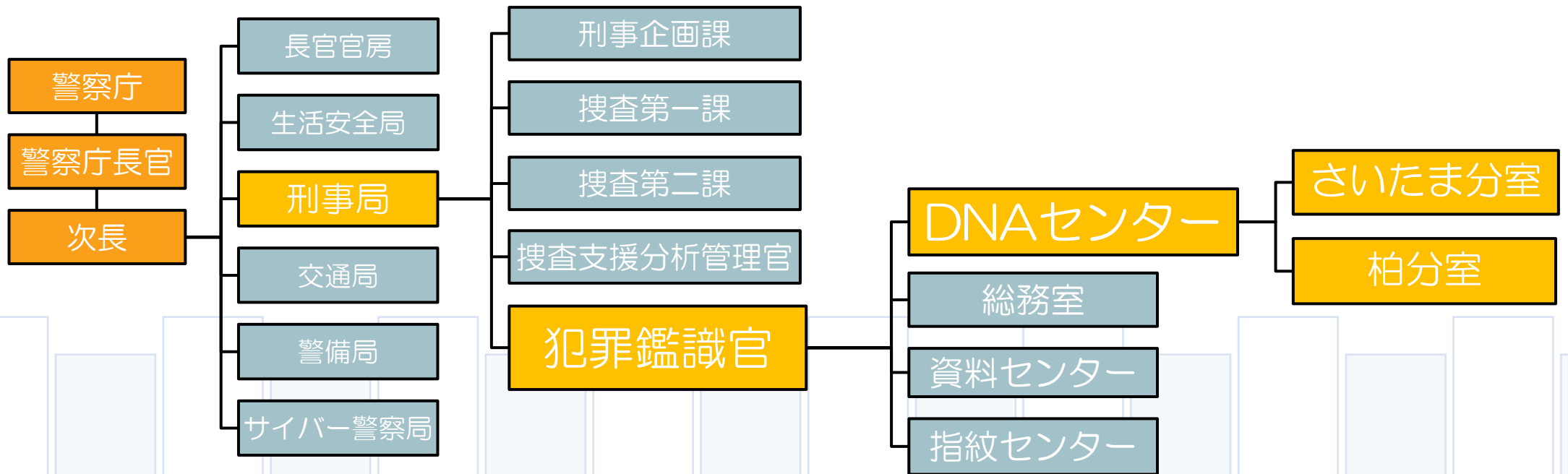
【区分：化学・農学】

警察庁の
DNA型鑑定技術職員

組織概要

警察庁のDNA型鑑定技術職員は**警察庁 刑事局 犯罪鑑識官**に所属し、主に**DNAセンター**で勤務しています。

犯罪鑑識官は、法医学、化学、心理学等の知識及び技術を応用し、DNA型、指掌紋、足痕跡、現場遺留物、写真等から捜査を科学的、合理的に進めるなど、犯罪鑑識全般に関する業務を担当している部署です。



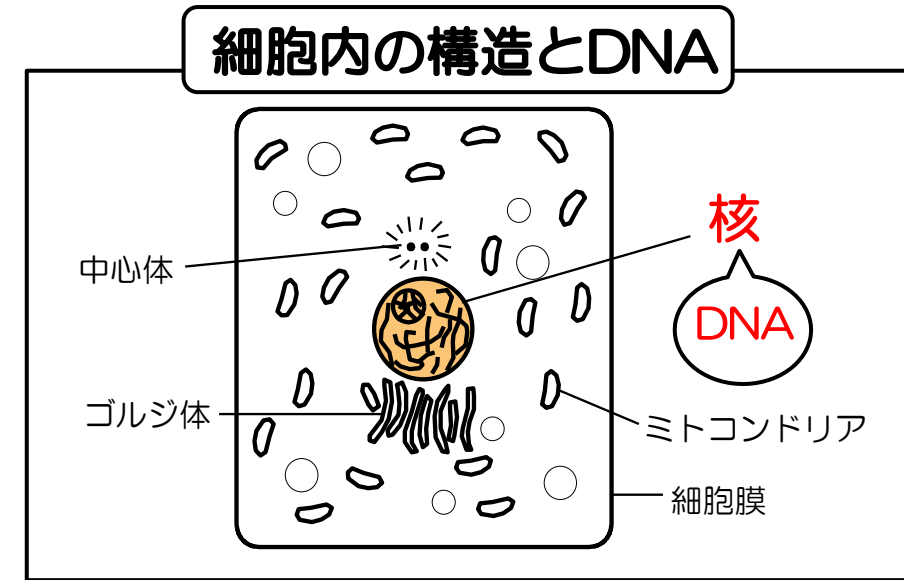
DNA型鑑定とは

DNA（デオキシリボ核酸：DeoxyriboNucleic Acid）とは？

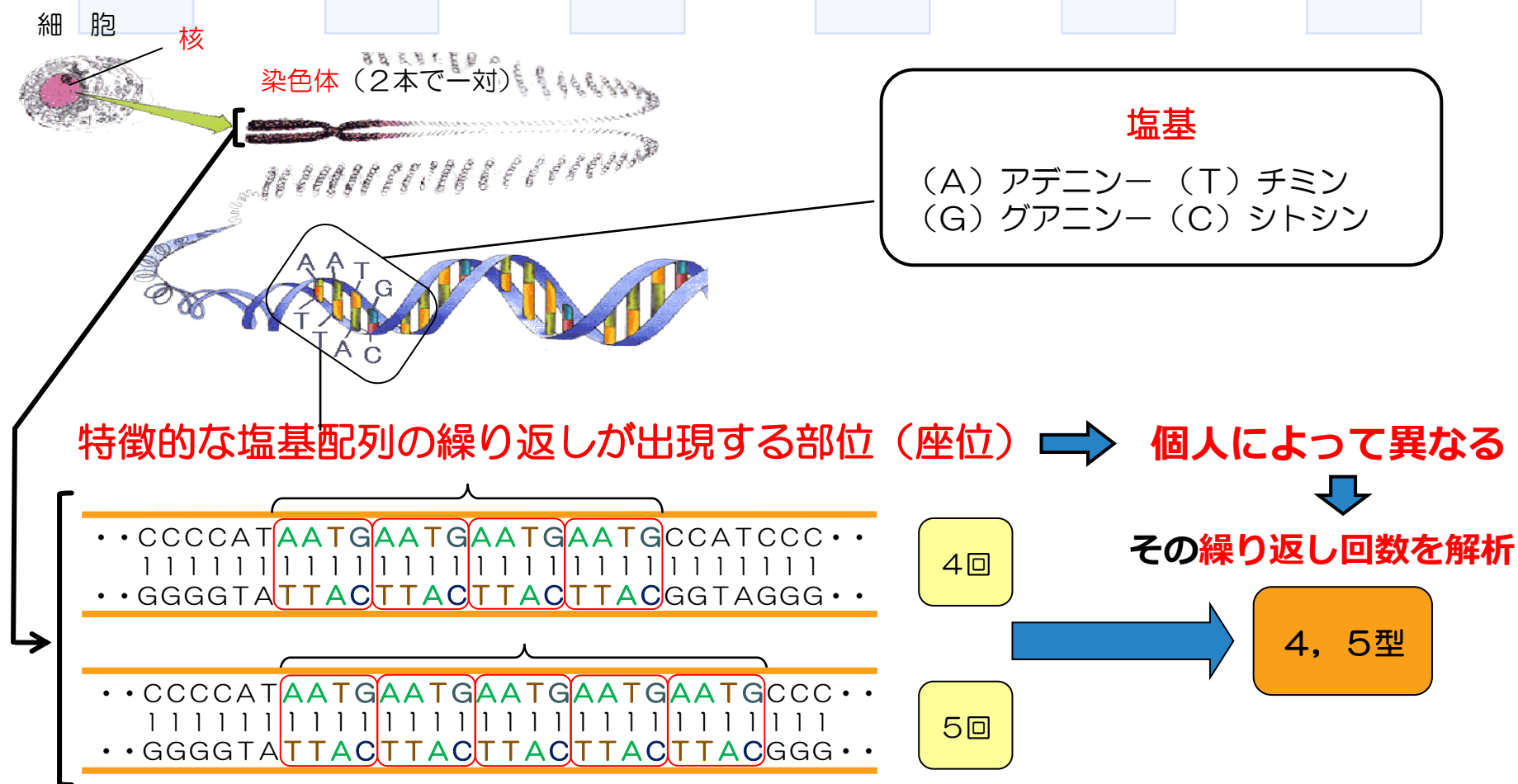
- 生物の身体を構成する細胞中の核内に存在
- 生物の身体を作り上げる情報を含んでいる物質
- 人の身体にある数多くの細胞ごとに存在
- 各細胞内のDNAは基本的に同一
（例）1人の人間の血液、皮膚、唾液に含まれるDNAは同一

DNA型鑑定とは？

- 1人1人のDNAに異なる部分があることに着目
- DNAから個人差のある部分の情報を抽出、比較し、個人識別に役立てる
- 犯罪捜査においては、
犯罪現場に残された血痕
被疑者の口腔内細胞
などの鑑定を行い、これらのDNA型を比較し、
その血痕等が被疑者に由来するか否かを見極めるために使われている



警察におけるDNA型鑑定(STR型検査法)

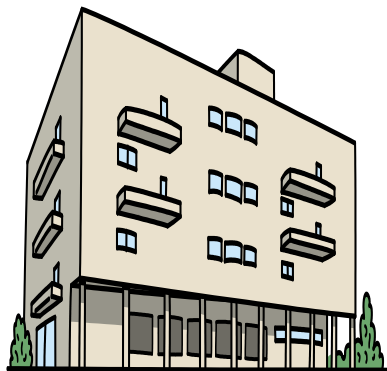


23対 (46本) の染色体上の24の部位 (座位) の塩基配列を解析
→ 日本人で最も出現頻度の高いDNA型の組み合わせの場合で、**約565京人に1人**

犯罪鑑識官のDNA型鑑定業務

都道府県警察

被疑者や現場などから
鑑定資料を採取



被疑者の
口腔内細胞の
鑑定囑託

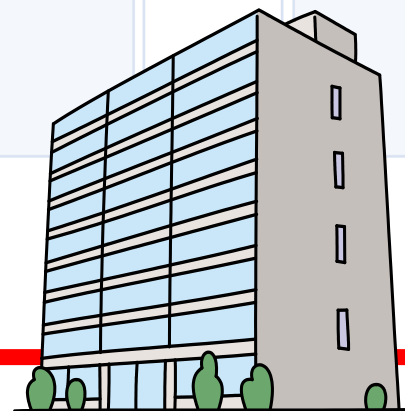
鑑定資料の送付

鑑定結果

鑑定書の送付

警察庁犯罪鑑識官
DNAセンター

DNA型鑑定・鑑定書作成

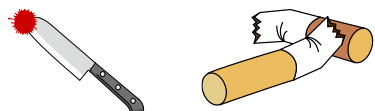


科学捜査研究所

遺留資料の鑑定囑託

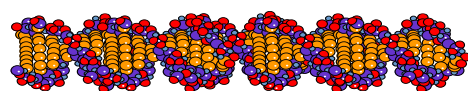
鑑定結果

遺留資料の鑑定



科学警察研究所

鑑定技術の研究



入庁後の流れ（一例）

1～2年目
警察庁

仕事内容

DNA型鑑定に関わる幅広い業務を経験する

勤務場所

DNAセンター、総務室

主な研修

- ◇ 初任科（2週間）
警察職員としての基礎を学ぶ
- ◇ 養成科（3ヶ月）
鑑定人としての基礎を学ぶ

3～4年目
都道府県警

仕事内容

多種多様な現場資料の鑑定や現場への出動を通して、鑑定人になるために必要な様々な経験を積む

勤務場所

都道府県警察の科学捜査研究所
※都道府県警に出向

5年日以降
警察庁

仕事内容

都道府県で学んだことを生かしながら、鑑定業務を行う

主な研修

- ◇ 専攻科（3週間）
DNA型鑑定を学び、鑑定資格認定書を取得するための研修を受ける
- ◇ 現任科（3週間）
鑑定人として必要な知識を深める



鑑定技術職員のとある一日（さいたま分室）

始業



上司から指示を受け、
当日の作業内容を確認

8:30

8:45

鑑定2



測定結果を確認し、検査工程
で問題がないことを確認
次の工程へ

12:00

解析



電気泳動の結果を確認し、
DNA型の解析

13:00

15:00

終業



執務室内の整理整頓と翌日の
スケジュール確認後、退庁

17:15

鑑定1



被疑者口腔内細胞の
DNA型鑑定検査を開始

昼食・休憩



お弁当を食べて
エネルギーチャージ

鑑定書作成



書類の確認をしながら
鑑定書を作成

※柏分室の勤務時間は
9:30-18:15です。

Q & A

Q 専門の知識が必要ですか。

A 入庁時は国家公務員採用一般職試験で求められる化学・農学についての教養があれば問題ありません。

入庁後はいきなり鑑定を行うわけではなく、業務を通じてDNA型鑑定の技術を習得するほか、専門機関での研修等を行い、資格を取得してから鑑定業務を行うこととなります。

Q 採用実績は？

A 平成25年度（平成26年4月1日採用）から採用をはじめ、これまでに採用したのは24名、令和6年度（令和7年4月1日採用）は1名を採用しました。

Q 採用後の勤務地は？

A 警察庁のDNA型鑑定は、千葉県柏市（最寄り駅：柏の葉キャンパス駅）、埼玉県さいたま市（最寄り駅：さいたま新都心駅）の2か所にあるDNAセンターで行っており、原則いずれかの勤務となります。

Q 異動や出向はありますか？

A 各DNAセンターや犯罪鑑識官（総務室）への異動、都道府県警察の科学捜査研究所への出向があります。

Q 福利厚生は？

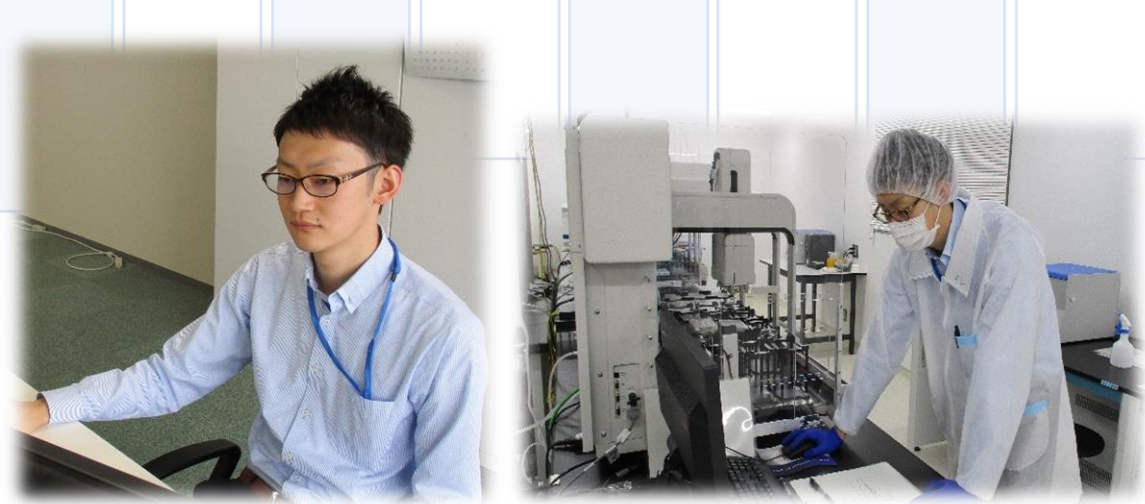
A 勤務場所に応じて公務員宿舎があります。また、民間のアパートに居住する場合は住居手当の受給を申請することも可能です。

入庁後は全員が警察共済組合に加入することとなり、全国各地にある宿泊所、レジャー施設等各種契約施設を割引料金で利用することができます。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官 DNA型鑑定係

平成27年 警察庁採用（一般職化学区分）
平成28年 山梨県警察本部刑事部科学捜査研究所
平成30年 警察庁刑事局犯罪鑑識官DNA型鑑定係（DNAセンター）
令和5年 警察庁刑事局犯罪鑑識官法医・理化学係（総務室）
令和6年 警察庁刑事局犯罪鑑識官企画係（総務室）
令和7年 警察庁刑事局犯罪鑑識官DNA型鑑定係（DNAセンター）



◇ 仕事のやりがい

DNAセンターで鑑定した被疑者のDNA型が全国の重要事件や過去の未解決事件の検挙に結びつくことがあるということに大きなやりがいを感じています。

◇ 職場の雰囲気

犯罪鑑識官は鑑識業務の行政部門を担う総務室や現業部門を担当するDNAセンターや指紋センター、資料センターなど、業務分野が多岐にわたるため、各分野の高い専門性を持つ職員や都道府県警察からの出向警察官・鑑定人など様々な経歴を持つ職員が集まっています。仕事の話はもちろん、楽しい雑談も年齢や経歴など分け隔てなく気軽にできるので、本当に働きやすい職場と感じています。

◇ 志望動機

私の周囲では、他省庁に理系区分で採用されても、実際には行政事務のみに従事している人がほとんどだったのですが、ここでは、科学的な知識と経験を活かせる機会が多く、警察におけるDNA型鑑定の科学技術力の水準が高いことから、専門的な知識や技術が不可欠であるところに魅力を感じました。

◇ 休日の過ごし方

よく郊外までドライブに出かけています。休日に突然出勤しなければならないような突発的な業務もありませんし、通常業務は見通しが立てやすく、自分の段取りで仕事を進められるため、平日も休暇が取りやすい恵まれた職場環境だと思います。

◇ 志望者へのメッセージ

大学で学んだ科学的な考え方や技術を活かすにはとても良い仕事です。生物やDNAの分野に関する知識がなくても、新しい分野に挑戦して学ぶ姿勢があれば、採用後にはDNA型鑑定に関する研修がとても充実していますし、私もほとんどゼロからのスタートだったので、みなさんも安心して下さい。

ワークライフバランスの面では、男性の育休取得が推進されており、私自身も子供が生まれた際、3ヶ月間の育休を取得することができ、職場のフォローも手厚いので、安心して働けると感じています。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官
DNA型鑑定係

令和3年 警察庁採用（一般職化学区分）
令和4年 埼玉県警察刑事部科学捜査研究所
令和6年 警察庁刑事局犯罪鑑識官DNA型鑑定係（DNAセンター）



◇ 仕事のやりがい

自分が携わる鑑定やデータベースが、全国の事件解決や身元特定に活用されていることにやりがいを感じます。また、鑑定技術の進歩等によって、日々学びの機会があることもやりがいに繋がっています。

◇ 職場の雰囲気

一人で黙々と作業するのではなく、作業工程を分担し、職員同士でコミュニケーションをとりながら鑑定を進めていきます。そのため、仕事の話も雑談も気兼ねなく話せる雰囲気があり、とても働きやすい環境だと思います。

◇ 大学での研究内容

遺伝子組み換え等基礎研究への応用のため、細菌由来酵素の活性を調べる研究をしていました。

◇ 志望動機

子供の頃から警察関係の仕事に憧れがあったので、大学で学んだ知識や科学的な考え方を活かし、全国の事件解決や身元特定に貢献できることにとても魅力を感じました。

◇ 志望者へのメッセージ

私自身生物やDNAに関する知識はほとんどありませんでしたが、採用後の研修や業務を通して必要な知識は学んでいます。また、ワークライフバランスのとれる働き方ができるので、将来を考えても、安心して働けると感じています。

先輩からのメッセージ

警察庁刑事局犯罪鑑識官
DNA型鑑定係

令和3年 警察庁採用（一般職化学区分）
令和4年 大分県警察刑事部科学捜査研究所
令和6年 警察庁刑事局犯罪鑑識官DNA型鑑定係（DNAセンター）



◇ 仕事のやりがい

研修や出向を通じてDNA型鑑定の知識や技術を一から学び、それらを業務に活かすことができる点にやりがいを感じています。また、DNAセンターは研究ではなく鑑定をメインとした業務であるため、鑑定結果により事件解決に貢献し、国の安全・安心を守ることに繋がるという点にもやりがいを感じています。

◇ 職場の雰囲気

職員全員で協力しながら日々の業務を行っていくため、役職問わず一体感のある職場だと思います。普段から仕事を通じてコミュニケーションが取れるため、常に和やかな雰囲気で働きやすい職場です。

◇ 大学での研究内容

接着剤の原料となる有機物を、効率的かつ高品質となるような合成方法の研究をしていました。

◇ 志望動機

公務員でありながら、理系の知識を存分に活かして業務に取り組める点、地方公務員よりも規模が大きく、国全体の事件解決に貢献できる点に魅力を感じ、志望しました。

◇ 志望者へのメッセージ

DNAセンターの業務は、個人で行うことは少なく、職員同士で分担し計画を立てながら業務を進めていくため、休暇を取得しやすい職場環境だと思います。もちろん最初は初めてのことでばかりで苦労することもあるかと思いますが、他の職員と協力しながら楽しく業務を行うことができます。みなさんもDNA型鑑定技術職員としてともに働いてみませんか？

出向中の先輩からのメッセージ

千葉県警察本部刑事部
科学捜査研究所法医科

令和5年 警察庁採用（一般職農学区分）
警察庁刑事局犯罪鑑識官DNA型鑑定係（DNAセンター）
令和7年 千葉県警察本部刑事部科学捜査研究所



◇ 科学捜査研究所の仕事

現在、私は千葉県警の科学捜査研究所（科捜研）の法医科で勤務しています。法医科では、主にDNA型鑑定と顔画像鑑定を行っており、事件解決や身元特定に貢献しています。DNA型鑑定技術職員として採用されると、DNA型鑑定人の資格を取得するために必要な現場経験を積むことを目的として、科捜研に2年間出向します。私はその1年目を過ごしていますが、現場鑑定を経験したり、模擬鑑定をクリアして実際の鑑定資料を用いた業務に従事したりしています。特に現場鑑定に関しては、実際の事件現場に赴くので、初めて出動した際の緊張感は非常に大きなものでした。このような感じで、科捜研はDNAセンターと比べて現場との距離が近く、スピード感を感じながら仕事をしています。一方で、私は採用されてから2年間警察庁で勤務していました。その際に経験した業務が、都道府県警察の業務に繋がっていることを感じながら働いていることは、大きなやりがいに繋がっています。

◇ 業務以外のおはなし

科捜研によって規模や雰囲気は違いますが、私が所属する千葉科捜研は全国的にも規模が大きく、人数の多い科捜研です。和気あいあいとしていて風通しがよく、とても働きやすい職場だと思います。業務時間外には有志でバレーボールをしたり夜ご飯に行ったりもしています。また、法医科以外の化学・物理・文書・心理科はもちろん、同じ庁舎で働く他所属の人たちと知り合う機会もあり、人脈がどんどん広がっていくのも楽しいです。

◇ 志望者へのメッセージ

DNAセンターの鑑定人として働く前に他機関に出向することは不安に感じるかもしれませんが、幅広い仕事に従事して経験値を高めることで、仕事に対するモチベーションや自信に繋がると思います。また、これまでたくさんの先輩が同じ経験をしているからこそ、安心して働ける職場です。DNA型鑑定技術職員として、みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。

おわりに

警察庁は、警察組織の中核機関であり、警視庁や道府県警察を指導・支援することにより、個人の権利と自由の保護や公共の安全確保と秩序の維持に貢献しています。

DNA型鑑定は、現在の犯罪捜査において欠かすことができない捜査手法の1つであり、その成果は、犯罪行為を特定する重要な証拠として活用されています。

みなさんのやる気と能力を DNA型鑑定技術職員として活かしてみませんか？

- 採用の情報は警察庁ホームページを確認してください。
- 採用に関する問合せ

警察庁刑事局犯罪鑑識官 採用担当

電話：03-3581-0141（内線830-4621）

Mail：kanteigijutsushokuin-saiyou@npa.go.jp